

令和8年度豊明市休日診療所運営協議会 会議録

開会日時 令和8年6月22日(月) 午後1時30分
開会場所 豊明市保健センター 2階 会議室
出席委員 後藤 順（東名古屋豊明市医師会長）・鈴木智博（東名古屋豊明市医師会副会長）・大野英里（豊明市薬剤師会長）・杉山由賀里（豊明市休日診療所長）
大原康壽（豊明市休日診療所副所長）・井澤英夫（藤田医科大学副院長）・小串真美（副市長）
欠 席 藤田潔（東名古屋豊明市医師会）
事務局 健康推進課長：川原
健康推進課長補佐：加藤
健康推進担当係長：佐々

審議経過

- （補 佐） 協議会開催の宣言
（副市長） 協議会への参加及び日頃の当市保健事業及び市政への協力お礼と、休日診療所の安心安全な運営のため今後ともご協力いただきたい旨の挨拶
（補 佐） 委員任期は令和7年度・8年度と新たな任期となるが、交代の委員に委嘱状の交付（机上交付にて対応）
委員の過半数の出席により協議会の成立と傍聴者なしの報告。
委員長を選任に入り、規則で委員の互選によることを伝える。後藤委員を推薦の声があり、他の委員の拍手あり。委員長に後藤委員を選任。
委員長より、委員長の職務代理者に小串委員を指名する。
（委員長） 委員長就任の挨拶を行う。

審議内容

- （委員長） それでは次第に従い議事に入ります。議題（1）令和7年度事業報告及び議題（2）令和8年度事業計画(案)を議題とします。各事業を一括で説明していただき、その後質問を受けることとし、一括して承認をはかります。
事務局の説明をお願いします。
（事務局） 令和7年度事業計画について
事業日数72日、患者数2020人
11月ごろよりインフルエンザの流行が生じ、医師・薬剤師2名体制での実施。感染症が多いが、昨年度に比べ全体として落ち着いている。
令和8年度の事業計画（案）
令和7年度同様の日数、3,000人の患者数を見込んでいるが、感染症の流行状況により、患者数の増減も考えられ、今年度の感染症状況を見極めながら休日診療所長とともに安心安全な診療体制を実施したい。

説明終了

(委員長) 説明が終わりました。委員からのご質問、ご意見をお受けいたします。
ご意見はありませんか。

(委員) 令和８年度の収入が、令和７年度の実績に比べ増加しているが、どのような見込みであるか。

(事務局) 感染症の状況により収入の変動がある。過去３年間の平均の数値をとりながら今年度の数値を見込んだ

(委員) 同じく収入について、診療報酬改定では大きな変動はなかったが、そのあたりの反映はされているか。

(事務局) あくまで過去３年間の収入としての実績により見込んだものである

(委員) 令和７年度に申請した医療機関物価高騰対策支援金について、今年度の計画には載っていないが申請はするか。

(事務局) 当初予算計上時には、支援金の実施が不明であったため計上がされていないが、今年度の医療機関物価高騰対策支援金について通知があったため、申請を行う予定である。

(委員) 休日診療所に従事するにあたり、休憩スペースやWiFiの設置など環境整備を再度検討してほしい。

(事務局) 検討します。

(委員) 感染状況により医師や薬剤師の体制を整える際のルールを明確化し統一しておくようお願いしたい。

(事務局) 明確化し統一いたします。

(委員長) その他ご意見もないようですので、おはかりいたします。議題(１)令和７年度事業報告及び議題(２)令和８年度事業計画(案)を原案どおり承認することとしてよろしいか。(異議なしと声あり。)

ご異議もないようですので、原案どおり承認いただきました。

それでは議題(３)その他についてお願いします。

(委員) 今年度、休日診療所において薬剤師学生の見学等の実習に協力いただきたい。

(委員) 了承

(委員長) その他ご意見もないようですので、これで(３)その他を終了します。
その他事務局よりありますでしょうか。

(事務局) 豊明市休日診療所運営協議会の公開等に関する取扱要領に基づき、本会議要旨をホームページに掲載します。

(委員長) 他にご意見はありますか。(挙手する委員なし。)

ないようですので、以上をもちまして本日の運営協議会を終了いたします。